

2026年2月

# グラフで見る和歌山県経済指標

## 和歌山県経済には弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2026年2月25日公表）において、「景気は、米国の通商政策の影響が残るものの、緩やかに回復している」との表現に変更された。個別項目では、「企業収益」において、基調判断が引き上げられた。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に1月の値）に基づき報告する。

### 全国の情勢

- ① 需要動向に関して、「個人消費」「輸出」「輸入」「設備投資」「公共投資」「住宅建設」に関する判断が維持された。
- ② 企業活動に関して、「業況判断」「生産」「倒産件数」に関する判断が維持された。その一方で、「企業収益」に関しては、10-12月期の決算が好調だったことから、「米国の通商政策の影響が残るものの、改善の動きがみられる」との判断に引き上げられた。
- ③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。
- ④ 物価に関して、「消費者物価」「国内企業物価」についての判断が維持された。
- ⑤ 世界経済に関しては、「世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。ただし、米国の関税率引上げに伴う不透明感が続いている」との判断が維持された。

### 和歌山県の情勢

① 個人消費面では、**百貨店・スーパー販売額（1月）**は、前年同月比0.8%減となり、2か月連続で前年を下回った。業態別では、近鉄百貨店和歌山店の販売額（1月）が前年同月比2.4%増となっており、2か月ぶりに前年を上回った。

帝国データバンク景気動向調査（2026年1月）によると、和歌山県においては、「1月度の地元大手スーパーの既存店売上高は前年割れとなっており、物価高を背景に消費者の節約志向が高まっている」としている。

**新車販売台数（軽自動車〔乗用〕含む、1月）**は、前年同月比6.9%減となり、7か月連続で前年を下回っている。

今後の見通しに関しては、物価高騰や車両価格の値上げなど、新車販売市場を下押しする要因が重なる一方で、26年3月末には、環境性能割が廃止され、税負担が一部軽減される。

**新設住宅着工戸数（1月）**は、前年同月比8.4%減となり、4か月連続で前年を下回った。住宅種別では、「持家」で前年同月比14.8%の減少となった一方、「貸家」では前年同月比16.4%の増加となった。資材価格の高騰や人件費の上昇で住宅建設価格は上昇傾向にあり、そのことが着工戸数の減少につながっているものと考えられる。

② 企業活動面では、**鉱工業生産指数（12月）**は、前月比3.4ポイントの下降となり、下降は3か月連続となった。鉱工業生産指数が95を下回るのは、2024年3月以来、1年9か月ぶり。「金属製品工業」、「はん用機械工業」などで生産指数が下降した。「食料品工業」についても生産指数は下降したが、高い水準を維持している。また、2025年前半までは高い水準にあった「繊維工業」だが、このところ下降傾向にある。

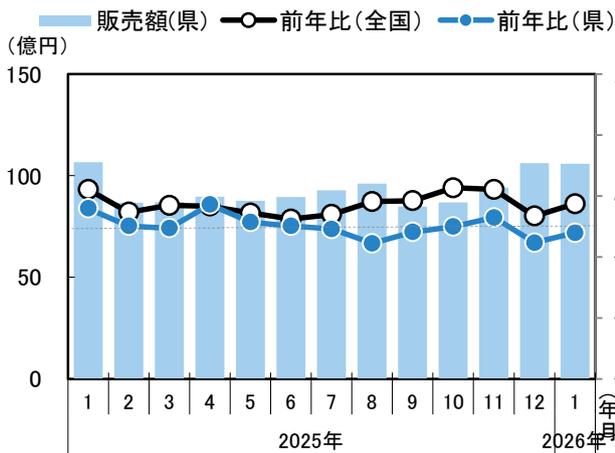
公共工事請負金額(1月)は、前年同月比 10.3%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。ただし、4月～1月累計での請負金額は前年同期比 1.0%減となっている。

一方で、内閣府「月例経済報告」によると、国内の公共投資は「底堅く推移」しており、1月の公共工事請負金額は、前年同月比 9.1%増となっている。ただし、全国生コンクリート工業組合連合会によると、1月の全国生コン出荷量は前年同月比 8.1%減となっている。建設現場における時間外労働時間の上限規制の広がり、働き方改革の進捗もあり、平日の稼働時間が減少している。

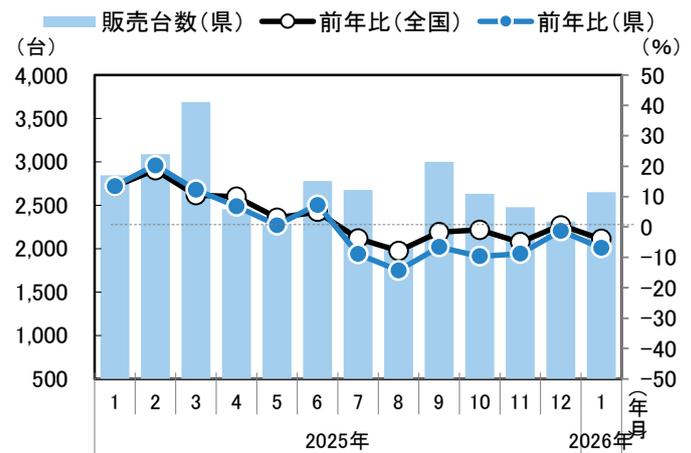
帝国データバンクが発表している県内 TDB 景気 DI (1月)は、前月から 2.4 ポイント下降した(下降は 2か月連続)。製造業の景気 DI が 3か月連続で上昇する一方、建設業は 5か月連続で下降している。このような状況を受けて、帝国データバンクは「県内の景気の見通しは当面足踏み状態が続くそうである」としている。

③ 雇用面については、有効求人倍率(1月)は、前月と同等の 1.00 倍となった。1.00 倍以下となるのは、コロナ禍の 2021 年 1 月以来、約 5 年ぶりの水準となる。前年 8 月以降、有効求人数が減少する一方で、有効求職者数が増加している。このような状況の要因としては、前年 11 月に、最低賃金が 65 円引き上げられ、事業者の人件費負担が増加しており、求人控えが起きている可能性が挙げられる。宿泊業、製造業を中心に新規求人数が前年に比べて少なくなっており、離職に伴う求職者数が 8 か月連続で前年を上回った。今後の県内雇用情勢については、これまで以上に注視する必要がある。

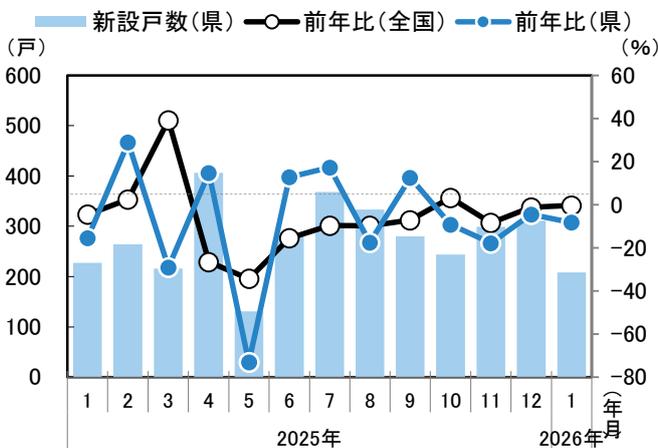
百貨店・スーパー販売額



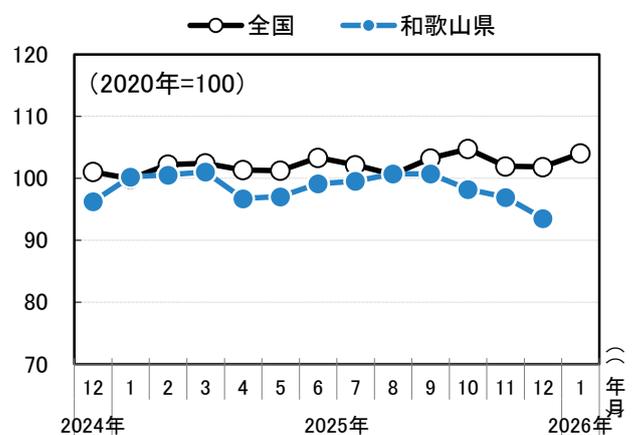
新車(登録車+軽自動車)販売台数



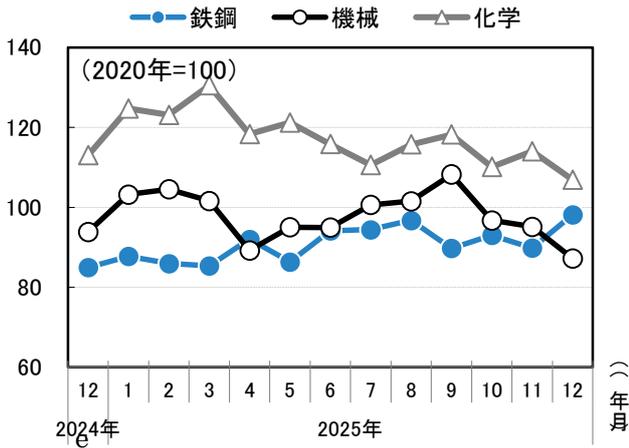
新設住宅着工戸数



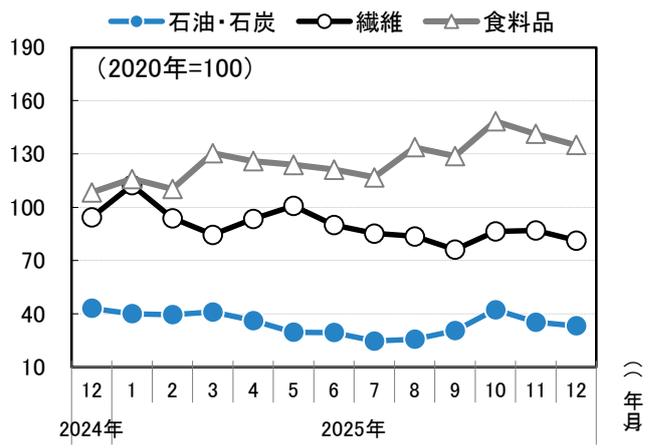
鉱工業生産指数



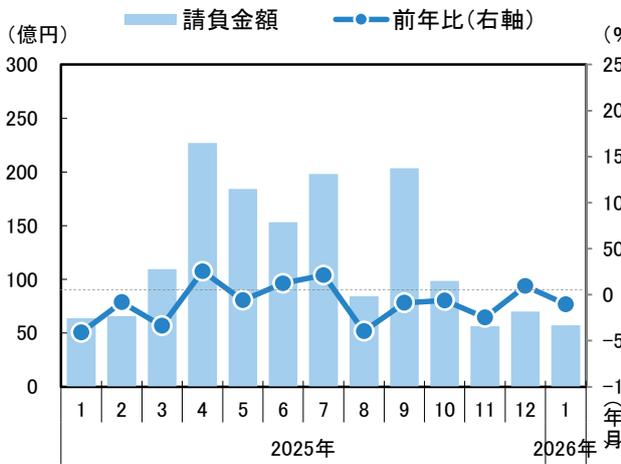
鉱工業生産指数(和歌山県)



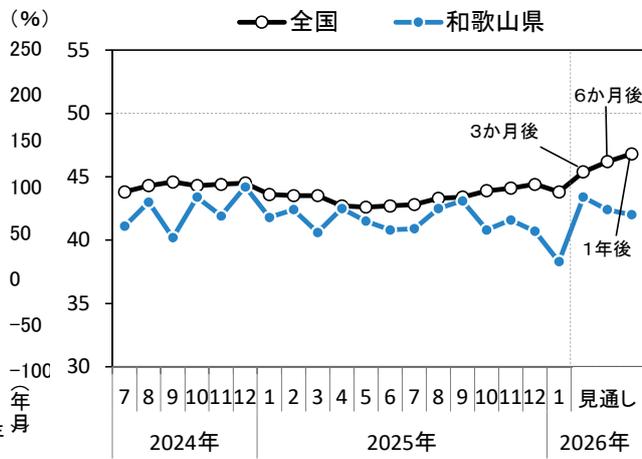
鉱工業生産指数(和歌山県)



公共工事請負金額(和歌山県)

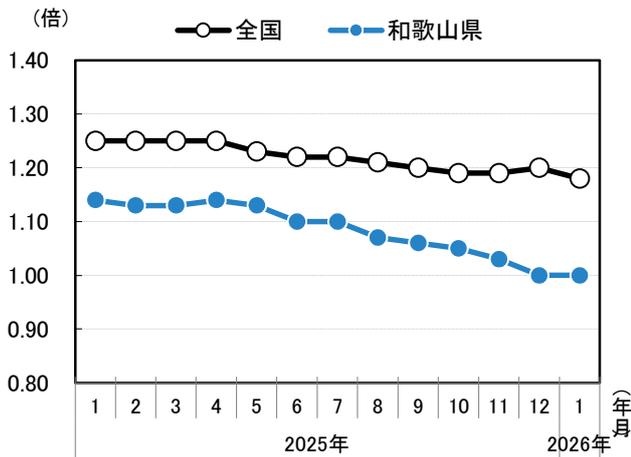


TDB景気DI(判断の分れ目は50)



(資料)株式会社データバンク

有効求人倍率



(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2024年	1,107	3.6	0.1	19,231	-5.6	-6.6	3,800	-3.3	-4.0
2024年12月	108.5	2.8	2.1	2,342	-8.0	-9.5	326	-2.5	49.5
2025年1月	106.7	4.9	2.4	2,847	13.3	13.4	227	-4.6	-15.6
2月	86.8	1.9	0.1	3,087	18.7	20.3	264	2.4	28.8
3月	87.0	2.8	-0.2	3,687	10.5	12.3	216	39.1	-29.2
4月	89.7	2.7	2.9	2,458	10.0	6.8	406	-26.6	14.7
5月	87.6	1.8	0.6	2,269	3.1	0.6	131	-34.4	-73.2
6月	89.5	1.0	0.1	2,779	5.0	7.3	285	-15.6	12.6
7月	92.8	1.6	-0.3	2,679	-3.8	-8.9	368	-9.7	17.2
8月	96.1	3.3	-2.2	2,049	-7.9	-14.3	333	-9.8	-17.6
9月	84.9	3.4	-0.7	2,999	-1.7	-6.6	280	-7.3	12.4
10月	86.9	5.1	0.0	2,634	-1.0	-9.6	244	3.2	-9.3
11月	94.0	4.9	1.2	2,478	-5.0	-8.8	299	-8.5	-17.9
12月	106.1	1.4	-2.1	2,312	0.6	-1.3	311	-1.3	-4.6
2026年1月	105.8	3.0	-0.8	2,651	-3.9	-6.9	208	-0.4	-8.4

(2026年\*月\*日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2020年=100)								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2020年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.5	100.0	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	97.6	93.8	97.0	97.0	87.7	96.3	118.0	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	103.8	100.2	106.6	101.8	122.2	100.0	120.3	1,584.1	-12.3	
2023年	103.9	97.9	93.0	97.9	104.7	102.7	99.8	117.1	1,711.6	8.0	
2024年	101.2	96.5	86.0	95.1	112.2	44.3	92.7	127.0	1,625.7	-5.0	
2024年12月	101.0	96.2	84.9	93.8	113.0	43.2	94.3	108.3	63.8	-55.7	44.2
2025年1月	99.9	100.2	87.7	103.2	124.7	40.1	112.5	116.0	63.9	-40.7	41.8
2月	102.2	100.5	85.9	104.5	123.1	39.6	93.8	110.3	65.7	-8.1	42.4
3月	102.4	101.0	85.3	101.6	130.5	41.1	84.5	130.4	109.4	-33.6	40.6
4月	101.3	96.7	92.0	89.2	118.3	36.2	93.4	126.0	226.9	25.8	42.5
5月	101.2	97.0	86.3	95.0	121.2	29.7	100.8	123.9	184.3	-6.0	41.5
6月	103.3	99.1	94.1	94.9	115.8	29.5	90.0	121.2	153.1	12.6	40.8
7月	102.1	99.5	94.4	100.6	110.6	24.7	85.2	116.9	198.3	21.4	40.9
8月	100.6	100.7	96.7	101.5	115.7	25.7	83.6	133.7	84.4	-39.5	42.5
9月	103.2	100.7	89.7	108.2	118.2	30.6	76.1	128.8	203.7	-8.7	43.1
10月	104.7	98.2	93.0	96.7	110.1	42.4	86.4	148.4	98.4	-6.2	40.8
11月	101.9	96.9	89.8	95.1	114.0	35.3	86.9	141.3	56.3	-24.6	41.6
12月	101.8		98.1	87.2	106.9	33.3	81.2	135.0	69.9	9.6	40.7
2026年1月	104.0								57.3	-10.3	38.3

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2026年\*月\*日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者 数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,874	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,976	14,775	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,339	14,407	14.7	17.2
2024年	1.25	1.13	16,427	14,570	13.9	17.3
2024年12月	1.25	1.13	16,520	14,540	12.0	14.7
2025年1月	1.25	1.13	16,544	14,543	10.2	13.5
2月	1.25	1.11	16,514	14,557	12.3	18.3
3月	1.25	1.12	16,364	14,465	18.4	22.5
4月	1.25	1.14	16,327	14,293	15.0	20.2
5月	1.23	1.15	16,324	14,412	12.0	20.9
6月	1.22	1.10	16,106	14,589	15.6	19.5
7月	1.22	1.12	16,037	14,572	12.3	19.2
8月	1.21	1.07	15,802	14,747	12.9	16.4
9月	1.20	1.07	15,683	14,747	12.8	18.0
10月	1.19	1.05	15,461	14,761	14.0	18.7
11月	1.19	1.03	15,357	14,960	10.8	18.3
12月	1.20	0.99	15,201	15,195	12.3	17.3
2026年1月	1.18	0.00	15,509	15,557	11.2	13.9

(2026年3月6日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。